

第43回 名古屋金春会 午後二時開演

番組

●能 頼政 後シテ(源頼政の霊) 前シテ(老翁) 本田 光洋 飯富 雅介 大鼓 河村裕一郎 小鼓 後藤嘉津幸 笛 鹿取 希世

ワキ 旅僧 桐元 正樹  
フキッレ(従僧) 原 陸

アイ(宇治の里人) 鹿島 俊裕

後見 本田 芳樹 前田 登 金春 憲和  
安達 裕香 地謡 鬼頭 尚久 金春 安明  
小島 芳樹 高橋 忍  
矢代 隆夫 本田 由樹

●狂言 薩摩守 シテ(渡守) 野村又三郎 アド(旅僧) 野村 信朗 アド(茶屋) 伊藤 奏 後見 松田 高義

午後三時五十分頃

《休憩二十分》

●仕舞 老松 藤松 金春 飛翔 金春 憲和 金春 裕香 安達 裕香 中村 昌弘 中村 昌弘 地謡 氷見 啓明 本田 光洋 本田 由樹 林 功

●能 室君 シテ(韋提希夫人) 金春 穂高 大鼓 河村眞之介 太鼓 加藤 洋輝 小鼓 船戸 昭弘 笛 山村 友子 後見 高橋 忍 中村 昌弘 地謡 豊田 均 本田 由樹 廣瀬 雅弘 佐藤 俊之 箕浦 遵 本田 芳樹 加藤 剛 鬼頭 尚久

アイ(室津の長) 野口 隆行

附祝言

(終演予定 午後五時半)

■解説■ 飯塚 恵理人 (椋山女学園大学教授)

頼政 (よりまさ)

宇治の里を訪れた諸国一見の僧が所の老人に名所を問う。老人は様々な名所を教えた末に平等院の扇の芝を見せる。ここが源頼政の自害した場所であると教え、自分は頼政の幽霊と告げて老人は消える。僧が吊っている頼政の霊が生前の甲冑姿で現れ、宇治川の橋合戦、平等院での戦の様子を語り、子ども達も討たれたので芝生に扇を敷き「埋れ木の」の辞世の和歌を詠んで自害したことを語り、僧に回向を頼んで姿を消す。

薩摩守 (さつまのかみ)

大阪の四天王寺参詣を志す新発意(若い僧)は世間知らずで、茶を飲んでも代金を払わず茶屋の主に咎められる。僧が無一文と知った茶屋は彼を許し、神崎川(淀川)の渡し舟にただで乗る方法を教えてやる。教えられた通り秀句(しゅうく)「しゅくしゅく」好きの渡し守に「船賃は平家の公達」「薩摩守」と言つて乗せてもらうが、その続きが思い出せず…

室君 (むろぎみ)

播磨国室の明神に仕える神職の者が、所の遊女である室君を船に乗せて明神に囃子物を奉納する神事を行うと告げる。船に乗った室君達が梅香る春の夜の室津の景色を愛でると、神職は棹(さお)の歌を所望する。室君達は船人に慣れ親しむ遊女の境涯や四季の景を織り込んだ棹の歌を謡い、神楽を舞う。この神楽に感応して室の明神の本地である韋提希夫人(いたいけぶん)が現れて舞を舞い、室津の地をほめたたえて雲に乗り虚空に消える。

コロナウィルス感染対策にご協力ください。  
 ○マスク着用・手指の消毒、受付での検温、ソーシャルディスタンスの確保をお願いいたします。 ○チケット半券は連絡先記入のうえ、回収箱へお入れください。  
 ○楽屋への面会はご遠慮ください。 ○上演形態が常とは異なる場合がございます。

FAX専用 申込み用紙 第43回 名古屋金春会 チケット申込み致します。 Fax: ●059-365-9102

●正面指定席5000円 枚 ●中・脇正面自由席 一般4000円 枚 ●学生3000円 枚 合計 円

ご住所

お名前 電話番号・メール

●チケット(税込)● 正面指定席5000円、中・脇正面自由席 一般4000円 学生3000円

●前売券取扱所● 名古屋能楽堂 Tel.052-231-0088 名古屋金春会 (ハヤシ) Fax: 059-365-9102 E-mail: nagoya.konparukai@gmail.com

警告 主催者の許可なき撮影、録音等の行為は、一切禁止です。発見した時には、お取り扱いさせていただきますので、ご注意ください。



■来年度予定■ 令和4年11月5日(日) 名古屋能楽堂 名古屋市中区三の丸一丁目1番1号 TEL 052-231-0088 FAX 052-231-8756